

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年10月24日

上場取引所 東 名

上場会社名 養命酒製造株式会社
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月7日

(氏名) 塩澤 太朗
 (氏名) 田中 英雄

TEL 03-3462-8125

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	6,681	—	1,183	—	1,329	—	821	—
20年3月期第2四半期	6,549	6.4	1,410	25.9	1,560	24.0	924	19.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	25.91	—
20年3月期第2四半期	29.04	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	36,634	—	31,866	87.0	—	—	1,005.04	—
20年3月期	36,938	—	31,705	85.8	—	—	999.90	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 31,866百万円 20年3月期 31,705百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	18.00	18.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,920	2.7	2,099	△19.3	2,352	△17.1	1,439	△13.4	45.38

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	33,000,000株	20年3月期	33,000,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	1,293,379株	20年3月期	1,291,290株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第2四半期	31,707,988株	20年3月期第2四半期	31,841,402株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安の広がり、原材料価格の高騰など景気の減速感が高まり、企業収益への圧迫や個人消費に対する影響が更に増しております。

当社の関連業界におきましては、流通業界の再編、業種・業態を超えた企業間競争、生活防衛意識の高まりによる消費活動の低迷等、予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中で、当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」ことを経営理念とし、「少子高齢化社会に即した成長戦略の実現により企業価値を高める」ことを基本方針とした第2次中期経営計画（平成19年4月から平成22年3月まで）に取り組んでおります。中期経営計画の統一した戦略を実現するために、6月27日付でマーケティング・販売・物流・研究開発を担う部門を統括するマーケティング本部の他、薬事・生産・海外事業を統括する生産事業本部、また人事総務・経理を統括する管理本部の3本部を設置し、より効率的な商品開発など業務執行の強化と部門間の連携を図っております。

当第2四半期累計期間の「養命酒」事業につきましては、東洋医学における「未病」という概念を紹介し、「冷え」や「疲れ」をテーマとする広告と連動した店頭販売促進活動を行うとともに、各種イベントへの参加、ウェブの活用等による薬酒文化の浸透を目指したトータルマーケティング活動を積極的に行いました。また、海外におきましては、既存の東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動を行いました。

以上の結果、主力商品「養命酒」の売上は国内においては、第2四半期に入り個人消費に停滞感が深まる中でやや低迷したものの、第2四半期累計期間では国内・海外ともに前年同期を上回り、不動産賃貸料及びその他の売上进行を合算いたしまして、その売上高は6,681百万円（前年同期比2.0%増）となりました。一方、利益面につきましては、売上原価と広告宣伝費等の販管費が増加したことにより、営業利益は1,183百万円（前年同期比16.1%減）、経常利益は1,329百万円（前年同期比14.8%減）、四半期純利益は821百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

*上記の前年同期比は参考として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、前期末に比べ303百万円減少し、36,634百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が661百万円、投資有価証券が国債の購入により258百万円それぞれ増加した一方で、有価証券が主に国債の満期償還により1,301百万円減少したことによるものであります。

負債は、前期末に比べ464百万円減少し、4,767百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が86百万円、繰延税金負債が34百万円、その他に設備投資にかかる未払金などがそれぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前期末に比べ161百万円増加し、31,866百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が87百万円減少した一方で、純利益の計上などにより利益剰余金が250百万円増加したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前期末に比べ438百万円減少し、4,717百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益1,312百万円、法人税等の支払額543

百万円などにより 767 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の償還による収入 1,500 百万円があった一方で、定期預金の預入(預入と払戻の純額)による支出 800 百万円、有形固定資産の取得による支出 309 百万円、投資有価証券の取得による支出 999 百万円などにより、631 百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払により 574 百万円の支出となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期(平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで)の業績予想につきましては、平成 20 年 10 月 17 日に発表いたしました通り、売上高は下方修正し 13,920 百万円、一方利益面は上方修正し、営業利益 2,099 百万円、経常利益 2,352 百万円、当期純利益 1,439 百万円となる見込みであります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定的方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当第 1 四半期会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成 19 年 3 月 14 日 企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成 19 年 3 月 14 日 企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成 18 年 7 月 5 日 企業会計基準第 9 号)を当第 1 四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期 会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,247,371	1,585,388
受取手形及び売掛金	2,969,897	2,877,797
有価証券	6,000,496	7,301,890
商品及び製品	330,651	363,317
仕掛品	173,410	144,505
原材料及び貯蔵品	286,740	283,822
その他	334,228	240,818
流動資産合計	12,342,796	12,797,539
固定資産		
有形固定資産	7,181,898	7,433,141
無形固定資産	241,142	259,349
投資その他の資産		
投資有価証券	11,804,479	11,545,533
その他	5,067,656	4,906,106
貸倒引当金	△3,539	△3,539
投資その他の資産合計	16,868,596	16,448,100
固定資産合計	24,291,637	24,140,591
資産合計	36,634,433	36,938,131

(単位：千円)

	当第2四半期 会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	239,966	250,851
未払法人税等	452,867	539,535
賞与引当金	250,162	253,564
その他	1,538,306	1,775,425
流動負債合計	2,481,302	2,819,377
固定負債		
繰延税金負債	1,354,660	1,389,618
役員退職慰労引当金	50,850	83,600
その他	881,056	940,059
固定負債合計	2,286,566	2,413,277
負債合計	4,767,869	5,232,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	676,680	676,680
利益剰余金	29,037,829	28,787,171
自己株式	△1,499,116	△1,497,027
株主資本合計	29,865,393	29,616,823
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,001,171	2,088,652
評価・換算差額等合計	2,001,171	2,088,652
純資産合計	31,866,564	31,705,476
負債純資産合計	36,634,433	36,938,131

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	6,681,204
売上原価	2,081,285
売上総利益	4,599,918
販売費及び一般管理費	3,416,871
営業利益	1,183,046
営業外収益	
受取利息	37,632
受取配当金	106,393
その他	17,049
営業外収益合計	161,074
営業外費用	
支払利息	13,045
その他	1,973
営業外費用合計	15,019
経常利益	1,329,102
特別利益	
固定資産売却益	213
特別利益合計	213
特別損失	
固定資産除却損	16,946
特別損失合計	16,946
税引前四半期純利益	1,312,369
法人税、住民税及び事業税	457,000
法人税等調整額	33,954
法人税等合計	490,954
四半期純利益	821,415

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期累計期間	
(自平成20年4月1日	
至平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,312,369
減価償却費	368,714
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,402
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△32,750
受取利息及び受取配当金	△144,025
支払利息	13,045
有形固定資産売却損益(△は益)	△213
有形固定資産除却損	16,946
売上債権の増減額(△は増加)	△92,100
たな卸資産の増減額(△は増加)	842
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,885
未払費用の増減額(△は減少)	△23,028
未払消費税等の増減額(△は減少)	62,485
その他	△274,829
小計	1,193,168
利息及び配当金の受取額	140,487
利息の支払額	△22,830
法人税等の支払額	△543,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	767,797
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,000,000
定期預金の払戻による収入	200,000
有価証券の償還による収入	1,500,000
有形固定資産の取得による支出	△309,329
有形固定資産の売却による収入	550
無形固定資産の取得による支出	△23,310
投資有価証券の取得による支出	△999,442
投資活動によるキャッシュ・フロー	△631,532
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,050,000
短期借入金の返済による支出	△1,050,000
自己株式の取得による支出	△2,088
配当金の支払額	△572,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△574,282
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△438,017
現金及び現金同等物の期首残高	5,155,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,717,371

当第1四半期会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 中間損益計算書

(単位：千円)

科 目	前年中間期 自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日
	金 額
I 売 上 高	6,549,279
II 売 上 原 価	1,905,518
売上総利益	4,643,761
III 販売費及び一般管理費	3,232,880
営業利益	1,410,880
IV 営業外収益	165,201
V 営業外費用	15,788
経常利益	1,560,294
VI 特別損失	13,970
税引前中間純利益	1,546,323
法人税、住民税及び事業税	558,000
法人税等調整額	63,669
中間純利益	924,653

(2) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前年中間期 自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日	
	金 額	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益		1,546,323
減価償却費		270,776
賞与引当金の増加額		254,708
役員賞与引当金の減少額	△	30,000
退職給付引当金の減少額	△	115,097
役員退職引当金の減少額	△	10,000
受取利息及び配当金	△	147,268
支払利息		15,413
有形固定資産売却、除却損		13,970
売上債権の増加額	△	341,969
たな卸資産の増加額	△	79,594
仕入債務の増加額		19,643
未払費用の増加額		413,568
未払消費税等の増加額		10,649
その他	△	275,158
小 計		1,545,964
利息及び配当金の受取額		149,277
利息の支払額	△	23,597
法人税等の支払額	△	687,809
営業活動によるキャッシュ・フロー		983,836
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△	735,505
有形固定資産の売却による収入		50
無形固定資産の取得による支出	△	14,143
投資有価証券の取得による支出	△	4,123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	753,721
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入		1,050,000
短期借入金の返済による支出	△	1,050,000
自己株式の取得による支出	△	971
配当金の支払額	△	537,638
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	538,610
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		—
V 現金及び現金同等物の減少額	△	308,495
VI 現金及び現金同等物の期首残高		7,445,240
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高		7,136,745

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

売上高明細表

(単位：千円)

品 目	前年中間期 自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日		当第 2 四半期累計期間 自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日		前事業年度 自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日	
	数 量	売上金額	数 量	売上金額	数 量	売上金額
養 命 酒 (うち輸出分)	K L 4,259	6,373,933 (143,995)	K L 4,357	6,507,084 (216,263)	K L 8,848	13,209,162 (522,173)
不 動 産 収 入		92,269		81,732		173,985
そ の 他		83,077		92,387		173,319
合 計		6,549,279		6,681,204		13,556,466

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。